

経営理念

当行は創立以来、一貫して「地域社会の繁栄に奉仕する」ことを経営理念として掲げてまいりました。この経営理念のもと、豊かな地域社会の創造と地元産業の発展に貢献することを当行の基本的な使命とし、地元京都における最大のリテールバンクとして、地域社会のみなさまに質の高い金融サービスを提供し、より一層信頼を深めていただけるよう努めております。

金融機関を取り巻く経営環境は、一層厳しさを増しつつありますが、今後とも地域のみなさまから最も信頼され、地元で最も存在感のある銀行となるため、当行の社会的使命の遂行に努めてまいります。

プロフィール

〈2018年9月30日現在〉

名称／株式会社 京都銀行／The Bank of Kyoto, Ltd.
本店所在地／京都市下京区烏丸通松原上る薬師前町700番地
創立／1941年（昭和16年）10月
総資産／9兆4,908億円
預金・譲渡性預金／7兆8,598億円
貸出金／5兆3,991億円
資本金／421億円
発行済株式総数／75,840千株
格付け／A (R&I)
A (S&P)

従業員数／3,627人
拠点数／494か所

※本支店169・出張所5・店舗外ATM316・海外駐在員事務所4（香港・上海・大連・バンコク）

※上記のほか、株式会社セブン銀行との提携による共同の店舗外ATM23,008か所

京都銀行では積極的な情報開示 (ディスクロージャー)を推進しています。

本誌は銀行法第21条に基づいて作成したディスクロージャー資料（業務及び財産の状況に関する説明書類）です。

なお、2018年11月発行のミニディスクロージャー誌「2018年9月中間決算のご報告」では、当行の各種取り組みや業績ハイライトなどを分かりやすくご紹介しておりますので、あわせてご覧ください。

CONTENTS

中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取り組みの状況

地域貢献に関する考え方	1
中小企業の経営支援に関する取組状況	2
地域の活性化に関する取組状況	5

事業の概況

経営環境と業績	6
主要な経営指標の推移	7

業績および財務データ

中間連結財務諸表	8
セグメント情報等	17
中間財務諸表	18
損益の状況	22
預金業務	26
貸出業務	27
証券業務	30
有価証券関係情報	32
デリバティブ取引情報	34
株式・資本の状況	36

自己資本の充実の状況

〈自己資本の構成に関する開示事項〉	37
〈定量的な開示事項〉	39
自己資本の充実度	39
信用リスク	40
信用リスク削減手法	51
派生商品取引及び 長期決済期間取引の取引相手のリスク	51
証券化エクスポージャー	52
マーケット・リスク	52
出資等又は株式等エクスポージャー	53
信用リスク・アセットのみなし計算が 適用されるエクスポージャー	54
金利リスク	54

中間期開示項目一覧

55